

## 研修会

### 高尾山に早春の花を訪ねて

末永博子 渡辺幸子 横山解子(四街道市)

日 時：2015年4月4日（土）  
場 所：高尾日影沢-もみじ台  
講 師：前田悦子  
参加者：25名  
担 当：田中 玉枝

私にとって久しぶりの高尾山の観察会。しかも春の高尾山だから是非とも参加したいと思い、仲間に声をかけて参加しました。事前の天気予報が気をもませること。当日も歩き始めは雨がパラパラとした時もありましたが、皆さんのがけがよかったですからたいしたこともなく過ぎました。

ニリンソウの群落・いろいろなスミレの花の可愛いこと・初めて見たミミガタテンナンショウ・近くで見たアブラチャンの花・全てが予想通りの素晴らしい自然の中で、心が洗われる思いでした。（末永）

バスの車窓から、濃いピンク色のミツバツツジに目が留まり日影沢に到着。日影沢から沢沿いにマルバコンロンソウ、ヨゴレネコノメ、セントウソウ、ミヤマカタバミなどに、釘づけになり、コチャルメルソウの風車のような愛らしい花に、メモや写真を撮ったり大忙し。前に進めませんでした。いつも気が付けば後ろになってご迷惑をおかけしました。

数種類もの高尾のスミレに会えて幸せです。来た甲斐がありました。どのスミレも高尾山の水分をたっぷり含んで色も良く葉もみずみずしさを増していました。途中で他のグループが観察していたプラナリアとカゲロウの幼虫まで、ちやっかり見させて頂きました。林道の崖でタゴガエルの卵を見て、崖の穴から反響した鳴き声を初めて聞きました。もみじ平へ向かうとキジョランの大きな葉が多く、聞けばアサギマダラを放蝶しているとのこと。少しがっかりですがアサギマダラの舞う姿を想像して歩くと、ヒガラのさえずりが。ミヤマシキミの花や、斜面にヤマルリソウも。

高尾山の山頂で富士山は見えませんでしたが、雄大な眺めに変わりありません。十年ぶりの高尾山は期待通りでした。すっかり忘れていましたが、さまざまな植物が自生する高尾山は魅力的です。スタッフの方々ありがとうございました。（渡辺）

昨秋に千葉県自然観察指導員協議会に入ったばかりで、高尾山の研修に参加できるとはなんとラッキー！ 日影沢を歩きながら、今を盛りと咲く野の花たちに感嘆の声を連発。ハナネコノメ・コチャルメルソウ・エイザンスミレ・ナガバノスミレサイシン… 写真とメモをとるのに忙しいこと。時にはヤマザクラを仰ぎ、岩の割れ目にタゴガエルの鳴き声を聞いて幸せな気持ちになり、石垣に張り付くクモノスシダに生命力を感じ、高尾山の豊かな自然がいつまでも残るように願いながら帰途につきました。（横山）



参加者集合写真